

別紙 2

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月28日 (18:00 ~ 19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 高橋・内藤・早川・藤井・橋本

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況 (人数を記入)

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5			7
②本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	5			7

できている点・その理由

- ・登録者が少ないこともあり関わりの時間を多く持て一人一人の話を傾聴できた。
- ・月に1回のミーティングが行われており、利用前の身体状況、本人家族の意向などの報告相談などをケアマネから受けておりサービス提供にあたる情報共有が行えている。
- ・新規利用者へはケアマネ以外に個別のケア担当者を決めており情報収集を行っている。
- ・本人の心境を察知しながら、言葉を選んで会話している。

できていない点・その理由

- ・利用中に知り得た細かな情報の伝達がうまくできず、スタッフ間で情報共有が十分にできない事があった
- ・退院支援など本人との対話不足により生活歴等を把握せずに支援に入ってしまうことがある。
- ・担当制を行い情報収集してきてもフェイスシートやアセスメントに追記しておらず、せっかく得られた情報が共有できていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・すれ違い勤務の中、職員間で情報共有をするためにフェイスシートやアセスメントシートをより一層活用する。
- ・ケアマネ以外の職員が収集した情報をフェイスシートやアセスメントに反映していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

できている点

◆今回の自己評価の状況 (人数を記入)

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①本人の目標 (ゴール) や当面の目標 (「～したい」) がわかっていますか？		4	3		7
②本人の当面の目標 (～したい) を目指した日々のかかりができていますか？		4	3		7

できている点・その理由

- ・日々の関わりの中で希望や思いなど、知ったことをミーティングにて話し合えている。
- ・表情やしぐさから推察しその日の体調に合わせてができている。
- ・機能向上等の明確な目標がある方への取り組み、リハビリモチベーションをあげる声掛けができている。

できていない点・その理由

- まだまだ聞けていない (わかっていない) 本人の思い、家族の思いがある。
- ・複数の課題が重なっている方に対してはどこから手を付けていいかわからず日々現状維持のままの支援になってしまっている。
  - ・目標設定はできているがどう対応していくのかまで日々の支援に精一杯で行き届かない。

次回までの具体的な改善計画

本人の「～したい」が実現できるよう全体ミーティングやカンファレンスの機会を定期的に意見交換できる機会を増やす。  
日常的にスタッフ間のコミュニケーションをとる

3. 日常生活の支援

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	4	2		7
②本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	3	2		7
③共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	3	3		7

できている点・その理由

- ・申し送りやミーティングにより迅速な対応により、日々の生活支援の介護は本人家族に無理なくできている。
- ・本人のできる能力を生かした介助法を行うようにしている。
- ・本人の表情から察してその場の支援ができています。
- ・本人家族の気持ちや体調の変化をスタッフ間で共有し柔軟にサービス変更に対応できている。

できていない点・その理由

- ・以前の暮らしの情報収集が十分でないため、予測などによる対応は十分にスタッフ間共有できてはいない。
- ・援助を行う際に、忙しさから本人への意向確認を不十分なことがある

次回までの具体的な改善計画

ケアマネ以外の職員もケアプランとの整合性を確認する。個別担当制をうまく活用し、現場スタッフもモニタリングをおこない新たなニーズを見つける。固定観念をすてるため、個別担当は固定せず状況に応じて変更する。

#### 4. 地域での暮らしの支援

##### ◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

##### 前回の改善計画

前回の改善計画

##### 前回の改善計画に対する取り組み結果

##### ◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①本人のこれまでの生活スタイル、人間関係等を理解していますか?		4	3		7
②本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?	2		5		7
③事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	5		7

##### できている点・その理由

- ・運営推進会議やイベントを通じ、事業所と地域との関りを積極的に持つようにしている。
- ・アセスメント内容を確認しこれまでの生活スタイル等を把握するように心がけている。
- ・地域の人や家族が事業所へ自由に入出りできるよう家族的な雰囲気作りを心がけている。

##### できていない点・その理由

- ・まだ家族との関わりにとどまり、地域でどのように暮らしてきたか、また、これからどのように暮らしたいと考えているか十分に把握できていない。
- ・コロナ対策により地域や家族を巻き込んだ交流会が行えず、確認の機会が少ない。

##### 次回までの具体的な改善計画

- ・地域との関りを広げるために、まずは地域の行事を把握し、積極的にイベント活動に参加できるように地区会との連携を図る。
- ・新型コロナが落ち着いたら、本人が直接地域と関わる機会を作りたい。
- ・利用者とともにできる具体的なイベントを考える

事業所自己評価・ミーティング様式

5. 多機能性ある柔軟な支援

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか？		5		2	7
②日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		5	2		7
③その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	4			7

できている点・その理由

- ・通い、宿泊、訪問は希望と必要性を合わせ、場合によってはスタッフの勤務調整を行いながら柔軟に対応できるよう努めている。
- ・体調や気分の変化に気づきスタッフ間で共有し、通いから訪問へ変更して対応している。
- ・本人、家族との対話を増やしニーズの把握に努めている。

できていない点・その理由

- ・本人の変化に気づき、その時にいるメンバーで話し合いは出来ているが、参加していないスタッフに情報が的確に伝わっていない事がある。
- ・本人と家族のニーズが合致しない場合に家族の意向を優先させてしまう傾向にある。
- ・事業所職員の体制により要望に応じることができない場面がある。
- ・地域資源の活用という点を職員が意識していない。

次回までの具体的な改善計画

- ・本人の変化に気づき、その時にいるメンバーで話し合いは出来ているが、参加していないスタッフに情報が的確に伝わっていない事がある。
- ・本人と家族のニーズが合致しない場合に家族の意向を優先させてしまう傾向にある。
- ・事業所職員の体制により要望に応じることができない場面がある。
- ・地域資源の活用という点を職員が意識していない。

事業所自己評価⑤

6. 連携・協働

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

④適正な個人情報の管理ができている

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	3		7
②地域の各種機関・団体（自治体、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	3	2	7
③登録者以外の高齢者や子ども等の地域受民が事業所を訪れますか？		2	5		7

できている点・その理由

- ・入院先のスタッフから情報を得たり、利用者が使用する福祉用具の使い方についての勉強会を行うことなど行っている。
- ・訪問看護ステーションと協力し、家族への指導法等を共有できている
- ・住民主体の活動やボランティア活動を行う団体等に開催場所として協力依頼がある。
- ・近隣の方や家族が事業所を気軽に訪れてくれている。

できていない点・その理由

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、イベントを企画しても人を積極的に集めて行う交流ができず滞っている。

次回までの具体的な改善計画

地域との連携強化するために地域の活動の情報収集を行い、参加計画を立てる。  
地区会と協力して避難訓練を行う

7. 運営

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1	3	3		7
②利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	3		7
③地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	2	3	1	7
④地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	4		2	7

できている点・その理由

- ・荒川沖ケアカフェや土浦まちゼミなど地域の活動への参加を積極的に行い、事業所についての情報を発信している。
- ・職員や利用者家族が意見を言える関係性や環境はできていると思う。

できていない点・その理由

- ・まだ、地域の方々からご意見をいただける状態に至っていない、今後いろいろなご意見をいただきたい。
- ・現場の業務をこなすことが精一杯で事業所のあり方の具体的なイメージや意見を言えるまでに至っていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・地域へ出向き交流する機会を増やし事業所の活動を広げ地域に発信していく。
- ・事業所前を通る人に挨拶をする。



8. 質を向上するための取り組み

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？		3	2	2	7
②資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？		2	3	2	7
③リスクマネジメントに取り組んでいますか？		2	5		7

できている点・その理由

- ・認知症介護等研修へ対象となる職員の参加を積極的に行っている
- ・開業前に他の小規模多機能事業所で研修実習を行い、サービス提供の参考にしたり困ったときに相談できる関係性を築いている。

できていない点・その理由

- ・事故、ヒヤリハット、苦情報告など申し送りや口頭で行っているが、書式への記入漏れが多い。
- ・事業所内での勉強会があまり行えていない。
- ・忙しいため自己啓発の時間が取れていないと感じている

次回までの具体的な改善計画

- ・リスクマネジメントの質を理解し日常的に実践する。
- ・ヒヤリハットや苦情の様式の見直し報告しやすい環境を整えて事故を未然に防ぐ取り組みにつなげていく。

9. 人権・プライバシー

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況（人数を記入）

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①身体拘束をしていない	7				7
②虐待は行われていない	7				7
③プライバシーが守られている	4	3			7
④適正な個人情報の管理ができています	4	3			7

できている点・その理由

- ・適切なケアについて学び、身体拘束や不適切なケアにならないよう取り組んでいる。
- ・身体拘束や虐待は行われず、プライバシーに配慮して入浴、排泄援助を行っている。
- ・個人情報を外に持ち出せないよう管理できている。

できていない点・その理由

- ・個人記録や情報が記載された書類やタブレットが無造作にテーブルに置かれていることがある。

次回までの具体的な改善計画

- ・定期的に研修を行い、自身のケアを振り返る機会を作る
- ・気になることがあったときはスタッフ同士で気軽に注意や相談しあえる関係を作る
- ・SNS等の使い方に注意する（ルールを決める）

## A. 事業所自己評価の確認 (回答数を記入)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくともスタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所のスタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ミーティングの場面では職員の2/3以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7		

## 【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフ全員で取り組んでいる。ミーティング参加者の氏名だけでなく欠席者の名前を入れておいた方がアンケートの集計数との整合性がとれやすいのではないか
- ・職員さんたちの各項目の取り組みの様子などできている点の報告とできていないところに目を向け課題に合わせて計画を立てている。

## 【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

## 【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているか、についての意見

- ・新型コロナウイルス感染症蔓延により地域イベントへの積極的な参加や地域連携の仕組み作りが遅れてしまうのは仕方ない。事業所内の熱意は感じることができるので終息すれば改善計画の内容が実現できると思う。
- ・「できていない点」に意見が出てきているのは、課題を理解していることの反映と思います。
- ・アセスメントやケアプラン、介護記録、ヒヤリハットなどの情報を全員が共有をできる仕組みがしっかりできると良い結果がえられると思う。

## 【改善計画】※後日記入

- ・次年度中に事業所評価で上がった9つのテーマにおける改善計画を実施、できる限り達成する。
- ・ケア質の向上をはかる勉強会や研修を計画し実施する。。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音やにおい等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	2	

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・必要に応じて鍵をかけることは危険回避のため致し方ない場面は理解できる。
- ・玄関は明るく気軽に入りやすい雰囲気があり、ベンチに腰かけてつい話が弾んで長居したくなる。
- ・新しい建物なので清潔感がある。

【前回の改善計画に対して意見】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・利用者の家族や見学などの来客はあるが、地域の方が日々往来する様子はないようだが、地域サロンが併設してあるのでコロナ終息後はもっと気軽に地域の方に来ていただけるようになると思う

【改善計画】※後日記入

防犯意識を継続しつつ、開放的で雰囲気の良い事業所の継続。新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで併設サロンを活用して開かれた事業所のイメージを作る。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？			
1	職員はあいさつができていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	2	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶はしっかりと出来ている。
- ・内覧会に地域住民も訪れており、比較的地域の方にも知られていると思うが事業の内容まで理解できたか不明。
- ・何か困りごとや相談ごとがあった場合に相談しやすい場所になっている。
- ・地域の行事やイベントに参加しようとする姿勢が見受けられる

【前回の改善計画に対して意見】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・併設の地域サロンで土浦まちゼミや荒川沖ケアカフェなど開催しており地域と積極的に関わる姿勢が見られる。
- ・どのような施設であるかを知ってもらうために顔の見える関係性を作っていくことが大切だ。
- ・コロナウィルスが終息後は地域住民の活動の場としてカフェスペースを提供したり、利用者との交流が自然にできるようになると思う。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の方や送迎先の地域の人に施設の存在を知ってもらうため、利用者家族だけでなく一般の方へ積極的に挨拶する「あいさつ運動」を実施する。
- ・サロンを活用して顔の見える関係性を作る。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？			
1	外出など、事業所外の場所に出かける機会を事業所はつくっていますか？	6		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	2	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・外出イベントを計画し、利用者が地域に出向ける取り組みを実施している。
- ・地域の方を交えた会議は運営推進会議を2カ月に1回開催している。
- ・周辺住民が事業所を訪れて相談したり、施設見学に訪れている
- ・新型コロナ蔓延感染予防の視点から利用者のイベント参加は難しいと理解できる。

【前回の改善計画に対して意見】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・新型コロナ蔓延により、地域に際に出向こうとする意思もみられるため終息後は積極的に取り込めると思う
- ・地域のお祭りなども今年は中止されているが再開された場合、出来る限り地域行事に利用者と一緒に参加するならば、自治会のイベント会議等に参加してはどうか。
- ・利用者の生活地域との関係性を継続できるように支援する。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の行事やイベント参加について地区の自治会の会議等に参加し情報収集を行う。
- ・外出先に選定に利用者の生活歴や意見を取り入れて実施していくために軒下マップを作成する。

E. 運営推進会議を活かした取り組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取り組みがわかりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域にいる心配の方などの事例検討が行われていますか？	4	2	1
3	運営推進会議では、地域での取り組みを一緒に取り組もうとしていますか？	6	1	
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の取り組みについては理解できる。
- ・よくやっていると思う。
- ・事例検討は行われていないが、運営推進会議のメンバーから周辺住民のことについての相談を受けられる場面は見受ける
- ・運営推進会議の意見について検討している姿勢がある。

【前回の改善計画に対して意見】

【「運営推進会議を活かした取り組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進委員のメンバーや荒川沖ケアカフェなどから地域の情報が入った内容について運営推進会議においても情報共有したり事例検討も可能ではないかと思う
  - ・運営推進会議の議事の内容について介護スタッフにも確認してもらい情報共有するとよい
- 小規模多機能での活動をビデオや写真で定期的に報告できるようにしたり、運営推進会議の時に行事の日程を併せてメンバーに参加してもらおうのもよい。

【改善計画】※後日記入

地域の心配な方への支援について情報をいただき、会議の中でも対応策や支援のあり方について検討する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	6	1	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		7	
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 消防計画は閲覧できるように外部評価の前にしっかり提示してほしい。
- ・ 新型コロナ感染症により地域の防災訓練自体も実施できていないので、まだ新しい施設なので実施していないのも仕方ない。

【前回の改善計画に対して意見】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・ 事業所が企画してくれればぜひ参加して協力したい。
- ・ 自治会と協力して地域での防災訓練やAED講習会を企画する。そのような交流をしていくことで施設の存在を知ってもらい、災害時に地域の方々の望む支援を事業として理解し事業所側も住民にお願いしたい支援など話し会える関係性ができるのではないかと

【改善計画】※後日記入

- ・ 災害時に地域の方に事業所を活用していただけるように事業所で企画した防災訓練やAED講習会に近隣の方が参加してもらえよう呼びかけの方法を工夫する。



## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ケア・コンフィデンス	代表者	高橋 宏成	法人・事業所の 特徴	当法人は、土浦市の南部に位置し、地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護）を中心に居宅介護支援事業所も併設し認知症に特化した支援を展開している。 小多機ホームしょうわ家族はこれまでの認知症対応の体制を維持しながら、機能訓練ができる設備もあるため、退院退所支援なども可能となっている。また、併設している地域サロンを活用し要介護状態になった利用者と地域住民が社会活動を協働して行える拠点としていきたい。
事業所名	小多機ホーム しょうわ家族	管理者			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	2 人	人	2 人	人	1 人	4 人	1人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>「できていない点」に意見が出てきているのは、課題を理解していることの反映と思います。</li> <li>アセスメントやケアプラン、介護記録、ヒヤリハットなどの情報を全員が共有をできる仕組みがしっかりとできると良い結果がえられると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度中に事業所評価で上がった9つのテーマにおける改善計画を実施、できる限り達成する。</li> <li>ケア質の向上をはかるため、職員間の情報共有の仕組みをつくる。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて鍵をかけることは危険回避のため致し方ない場面は理解できる。</li> <li>地域サロンが併設してあるのでコロナ終息後はもっと気軽に地域の方に来ていただけるようになると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯意識を継続しつつ、開放的で雰囲気の良い事業所の継続。</li> <li>新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで併設サロンを活用して開かれた事業所のイメージを作る。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設を知ってもらうために顔の見える関係性を作っていくことが大切だ。</li> <li>コロナウイルスが終息後は地域住民の活動の場としてカフェスペースを提供したり、利用者との交流が自然にできるようになると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方や送迎先の地域の人に施設の存在を知ってもらうため、利用者家族だけでなく一般の方へ積極的に挨拶する「あいさつ運動」を実施する。</li> <li>サロンを活用して顔の見える関係性を作る。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のやりたい事を把握し、その人の暮らしてきた中での支援を考える必要がある。</li> <li>地域行事に利用者と一緒に参加するならば、自治会のイベント会議等に参加してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事やイベント参加について地区の自治会の会議等に参加し情報収集を行う。</li> <li>外出先に選定に利用者の生活歴や意見を取り入れて実施していくために軒下マップを作成する。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>			<p>・運営推進委員のメンバーや荒川沖ケアカフェなどから地域の情報が 入った内容について運営推進会議 においても情報共有したり事例検討も 可能ではないかと思う</p>	<p>・地域の心配な方への支援について情報を いただき、会議の中でも対応策や支援のあ り方について検討する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>			<p>・自治会と協力して地域での防災訓練 やAED講習会を企画する。その ような交流をしていくことで施設の 存在を知ってもらい、災害時に地域 の方々の望む支援を事業として理解 し事業所側も住民にお願いしたい支 援など話し会える関係性ができるの ではないか</p>	<p>・災害時に地域の方に事業所を活用して いただけるように事業所で企画した防 災訓練やAED講習会に近隣の方が参 加してもらえよう呼びかけの方法を 工夫する。</p>